

令和 8 年度 入学試験出題意図

教科・科目名	英語	問題番号	問題 1
対象学部・ 学科・課程等	大学院芸術文化学研究科（比較芸術学・民族音楽学・芸術表現 各研究領域）		
出題のねらい	Burt Feintuch編による<i>Eight Words the Study of Expressive Culture</i> (University of Illinois Press, 2003)から、Gerald L. Pociusが執筆した“Art”の章より、‘The Emergence of Art’のセクションから抜粋を全訳させる。 本書は表現文化に関する8つのキーワードを取り上げ、各用語の概念史をめぐる専門的な内容を比較的読みやすい英文で解説したものである。本課題では、博士課程に入学後、学術書の講読を行う上で最低限必要となるレベルの英語の読解力を問う。抜粋箇所はヨーロッパ世界における中世からルネサンス時代にかけての「芸術 art」という概念の転回について論じたものである。訳文の正確性（原文の意味を正しく理解し、伝えられているか）、完全性（必要な情報を漏れなく把握、説明できているか）、表現力（適切で自然な日本語で表現できているか）、論理性（内容を論理的に整理し、説明できているか）の4つの観点から、解答者の言語能力と芸術に関する知識を測り、評価する。		

令和 8 年度 入学試験出題意図

教科・科目名	中国語	問題番号	問題 1
対象学部・ 学科・課程等	大学院芸術文化学研究科（比較芸術学・民族音楽学・芸術表現 各研究領域）		
出題のねらい	外国語（中国語）の出題は、沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科で研究するために必要な芸術に関する基礎的な知識を問い、現代中国語の出題文（簡体字または繁体字）を現代日本語の文法や表記法に沿って論理的に表現する力を測るものである。 出題文は現代芸術を論ずる近年の文章から出題した。出典は陳履生「美術批評的専門視角和職業視角」. 中国文芸評論網. 2024年3月28日. https://www.zgwyp1.com/content/details18_442548.html（参照2026-02-16）からである。問題は、出題文中の芸術をめぐる論評についての方法を問う部分を中心に現代日本語に適切に訳出することができるかについて出題し、あわせて芸術的理論や視点、背景を理解し訳出に反映できているかを確認することで、受験者の芸術に関する基礎的な知識を問うものとした。		

令和8年度 入学試験出題意図

教科・科目名	琉球語	問題番号	問題 1
対象学部・ 学科・課程等	大学院芸術文化学研究科（比較芸術学・民族音楽学・芸術表現 各研究領域）		
出題のねらい	「琉球語」 外国語（琉球語）の出題は、沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科で研究するために必要な芸術に関する基礎的な知識を問い、琉球古典語の出題文を現代日本語の文法や表記法に沿って論理的に表現する力を測るものである。 出題文は琉球語（琉歌・組踊語）の基本である組踊作品から出題し、出典は「花売の縁」（『組踊』下 琉球文学大系14）である。問題は、出題文中の琉球語の表現を中心に現代日本語に適切に訳出することができるかを問うとともに、琉歌の部分は芸術的表現や、雅語的な言い回しを訳出に反映できるかを問うものとした。		